総合計画に係る前期基本計画施策成果指標管理表

目標値記載頁	表　題	施策成果の主な指標	現況（H18）	H21年度末実績	H23年度末実績	目標値（H24）	H24年度末実績	目標値と実績の差の理由（未達成の理由）	担当課
41	人権文化の創造	八代地域人権子ども集会参加者数	1,100人（H19）	1,300人	1,700人	1,500人	1,700人	目標達成	学校教育課
		各種講演会等への参加者数（人権セミナーやつしろ）	1,049人（H19）	460人	429人	1,500人	335人	人権セミナーやつしろは毎年度3回開催しており、H20年度までは講演形式でハーモニーホール・市民ホール（500名定員）で行っていたが、H21年度以降は意見等を出しあえるセミナー形式に方針を変更し、会議室（180名定員）にて実施するようになった。 本来であれば、方針の変更、会場等の関係で、目標値を540人と下方修正する必要があり、実績からは概ね達成されているものと思われる。 ただし、関係機関・団体等との共催等で行う各種講演会等の参加者数の合計は、H24年度2,600名程度になる。	人権政策課
43	男女共同参画の推進	「男は仕事、女は家庭」と言う考え方に賛成しない市民意識の割合	62.6%（H19）	5年に1度の調査のため21年度は数値なし	平成24年度に調査のため23年度実績なし	100%	62.6%	「男は仕事、女は家庭」といった考え方への肯定派は減少しているものの、否定派は横ばい状況であり、特に男性に性別で役割を決める考え方が根強く残っている現状がある。	人権政策課
		審議会等における女性委員の割合	24.6%（H19）	27.0%	26.2%	40%	25.3%	あて職や団体の代表者で構成される割合が大きく、地域や様々な分野で女性の参画が進んでいないために、結果として女性の登用が少ない現状となっている。	人権政策課
45	母子保健の向上	低出生体重児の出生率	11.0%（H17）	8.75%（H20）	10.3%（H22）	8%	8.3%（H23）	年々減少傾向ではあるが、わずかに目標未達成。妊婦健診結果で、高血圧、高血糖、尿蛋白などの異常者が増加傾向にあることからさらに妊娠中の保健指導を充実していく。	はつらつ健康課
		3歳児健診受診率	91.3%	92.7%	94.0%	100%	95.6%	3歳児健診受診率は年々上昇傾向だが、目標には程遠い。4か月・7か月・1歳半と年齢を重ねるごとに親の多忙等の理由から未受診となっているため、次回も受けたいと思えるような健診内容の見直しや未受診児に対する通知や家庭訪問等を強化して受診勧奨に努める。	はつらつ健康課
47	子育て支援	病児・病後児保育（施設型）数	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	目標達成	こども未来課
		一時保育実施園数	30ヶ所	41ヶ所	38ヶ所	32ヶ所	38ヶ所	目標達成	こども未来課
		放課後児童クラブ数	22ヶ所	25ヶ所	26ヶ所	29ヶ所	26ヶ所	放課後児童クラブ未実施校区は8校区あるが、そのうち放課後子ども教室や夏休み期間のみの学童を実施していない校区は2校区。一部のみ実施校区から要望はあったが、利用児童数が少ないなど、国の基準を満たさないことから実施には至っていない。	こども未来課
50	保健・福祉・医療の連携強化	麻しん・風しん予防接種率	54%	85.2%	89.5%	95%	95.32%	目標達成（MRワクチン1期・2期の合計）	はつらつ健康課

総合計画に係る前期基本計画施策成果指標管理表

目標値記載頁	表　題	施策成果の主な指標	現況（H18）	H21年度末実績	H23年度末実績	目標値（H24）	H24年度末実績	目標値と実績の差の理由（未達成の理由）	担当課
		特定健診実施率（国民健康保険）	17.3%	26.6%	32.8%（H22年度）	65%	33.2%（H23年度）	受診率向上のために、健診体制の整備や受診勧奨等取り組んだが、目標値には程遠い状況である(14市中5番目)。 県内でも、目標値に達成した保険者は1か所である（五木村のみ）。	はつらつ健康課
		特定保健指導実施率（国民健康保険）	（H20より実施）	45.9%	32.4%（H22年度）	45%	42.1%（H23年度）	初年度は非常に高かったが、その後低下していった。これは、継続して対象者になった場合拒否されたり、ポイント不足で終了まで至らないケースがあることが一因である。初回面接だけの指導では実施率に反映しないため、低下してきた。	はつらつ健康課
52	健康づくりの推進	3歳児健診におけるむし歯保有率	34.1%	33.44%	30.9%	30%	31.54%	3歳児虫歯保有率は、年毎に増減があり目標未達成。虫歯の増加は、1歳半から3歳にかけて見られるため、1歳半健診でのフッ化物歯面塗布や仕上げ磨き指導等、むし歯予防教育を充実していく。	はつらつ健康課
		内臓脂肪症候群の該当者・予備軍の減少率（国民健康保険）	（H20より実施）	（H20に対して）12.9%減少	（H20に対して）13.1%	（H20に対して）10%減少	21.3%（H23年度）	目標達成	はつらつ健康課
55	障がい者の自立支援	福祉施設から地域生活への移行者数の割合	H18策定の障がい福祉計画にて数値目標を設定。（ 0%）	4%	4%	10%	13.4%	目標達成	障がい者支援課
		福祉施設利用者の年間一般就労への移行者数	H18策定の障がい福祉計画にて数値目標を設定。（ 0人）	1人	4人	4人	6人	目標達成	障がい者支援課
57	高齢者の支援	介護予防教室開催数	81回	82回	95回	120回	209回	目標達成	長寿支援課
		老人クラブ会員数	11,874人	10,100人	9,483人	12,000人	8,342人	・若手高齢者の加入が少ない。 ・単位老人クラブの役員のなり手がいないことによるクラブ数の減少。	長寿支援課
		筋力アップ体操普及事業実施箇所数	15ヶ所	18ヶ所	20ヶ所	20ヶ所	20ヶ所	目標達成	長寿支援課
59	食育の推進	朝食を食べない児童・生徒の割合	9.7%（児童） 14.4%（生徒）	平成23年度に調査予定	17.1%（児童） 16.7%（生徒）	0.0%	13.4%（児童） 14.6%（生徒）	調査対象は毎日食べる人以外の集計値。これに、たまに食べない（月数回）人を除くと3.0%（児童）、5.7%（生徒）となる。	はつらつ健康課
		食生活改善推進員の数	187名（H19）	167名	153名	250名	144名	組織構成の高齢化も相まって、新規加入者より脱会者の方が上回る状況にある。市民の食に対する関心は高まりつつあるが、推進員としての活動は敬遠されがち。今後も、養成講座の開催を続け、推進員の確保に努める。	はつらつ健康課
		地産地消に関心を持っている市民の割合	77.3%	調査を実施していないため不明	H24年度に調査実施予定	85%	調査を実施していないため不明	調査内容を見直してH25年度に実施予定	農業政策課
64	「生きる力」を身につけた子どもの育成	学校施設の耐震化率 ※学校施設のうち、耐震改修促進法第6条第1項に規程する特定建築物の耐震化率	―	48%	69%	60%	75%	目標達成	教育施設課
		特別支援教育支援員数	0.4人／1校	0.75人／1校	0.86人／1校	1人／1校	0.98人／1校	他の学校支援職員（生徒指導員）を1名削減して4名増員したものの未達成となった。 なお、H25年度は1.1人／1校である。	学校教育課

総合計画に係る前期基本計画施策成果指標管理表

目標値記載頁	表　題	施策成果の主な指標	現況（H18）	H21年度末実績	H23年度末実績	目標値（H24）	H24年度末実績	目標値と実績の差の理由（未達成の理由）	担当課
		不登校児童生徒（30日以上の欠席者）数	184人（H19）	146人	108人	150人以下	86人	目標達成	学校教育課
66	家庭と学校と地域社会が連携した子どもの育成	子ども会組織数	57団体（H19）	49団体	46団体	60団体	46団体	ホームページの更新や活動PRチラシなどを作成し、連合会活動の啓発と新規加入団体の促進を図ってきたが、旧市域へはなかなか浸透せず、目標値には及ばなかった。	生涯学習課
		家庭教育学級開設数	46学級（H19）	54学級	48学級	50学級	50学級	目標達成	生涯学習課
		青少年体験活動事業参加者満足度	87.9%	87.3%	93.1%	95.0%	100%	目標達成	生涯学習課
68	生涯学習社会の構築	公民館利用者数	203,200人	324,922人	390,712人	305,000人	368,322人	目標達成	生涯学習課
71	生涯スポーツの推進	スポーツ実施率（成人）※1週間に1回以上、スポーツをする成人の割合	38.4%	平成24年度調査予定	平成24年度調査予定	50%	51.9%	目標達成	いきいきスポーツ課
		総合型地域スポーツクラブの設立数	0団体	1団体	1団体	2団体	3団体	目標達成	いきいきスポーツ課
		スポーツ施設の利用者数	496,000人	490,610人	526,658人	546,000人	537,747人	H23実績と比較すると利用者数は1%増加しているものの、利用者数の目標値まで達成できなかった。旧町村施設の利用の減少が散見される。	いきいきスポーツ課
75	伝統の継承・活用と八代の文化の創造	国・県・市指定文化財等件数	243件	246件（国指定9件・県指定29件・市指定200件・国登録5件・国重美3件）	245件（国指定10件・県指定29件・市指定198件・国登録5件・国重美3件）	250件	245件（国指定10件・県指定29件・市指定198件・国登録5件・国重美3件）	H18年以降、新たな指定・登録は8件（国指定2件、県指定3件、国登録3件）あり、通算251件となり目標は達成しているが、国指定2件はもともと県指定だったこと、市指定の解除4件（枯死、滅失等による）があったことにより、2件増（6増4減）にとどまっている。	文化まちづくり課
		厚生会館（千丁・鏡文化センター含む）総利用者数	138,298人	104,935人	120,036人	156,000人	134,218人	平成21年度から市内のホールで全体的に利用が減少しているため。また、厚生会館で各種発表会、鏡では大会や式典の件数が減少したことも要因。さらに、各催し物の入場者数が全国的に減少傾向にあるため、目標値達成ができなかったと考えられる。	文化まちづくり課（厚生会館）
		図書館（分館含む）総利用者数	111,121人	108,103人	112,277人	124,000人	115,099人	平成24年7月から開館日数を増やすとともに貸出冊数を倍の10冊としたため、貸出冊数はおよそ30%増加、貸出利用者数も2.5%増加したものの目標値には及ばなかった。原因としては人口が減少する中の目標値：年毎の増加目標割合が過大であったためである。今後は2.5%増を目標とする。	図書館
		博物館総入館者数	33,700人	32,227人	27,432人	35,000人	28,283人	・学校教育での史跡見学の廃止により児童生徒の入館者数が減少した。 ・展覧会の目玉作品の借用が年々困難になっており、入館者数がやや延び悩んでいる。	博物館
80	計画的な土地利用の推進	地籍調査事業進捗率※調査対象面積に対する調査済面積の割合	30%	39.77%	45.03%	45%	47.68%	目標達成	地籍調査課
83	安心で快適な住環境の形成	市有施設の耐震化率※市有施設のうち、耐震改修促進法第6条第1項に規定する特定建築物の耐震化率	63%（H19）	69.20%	79.23%	73%	82.17%	目標達成	財政課

総合計画に係る前期基本計画施策成果指標管理表

目標値記載頁	表　題	施策成果の主な指標	現況（H18）	H21年度末実績	H23年度末実績	目標値（H24）	H24年度末実績	目標値と実績の差の理由（未達成の理由）	担当課
85	親しまれる公園や緑地の整備	市民一人あたり公園面積	5.5㎡	6.3㎡	6.4㎡	6.0㎡	6.4㎡	目標達成	街路公園課
89	上水道の充実	【水道】 給水区域内普及率（給水人口/給水区域内人口）×100	54.7%	56.25%	57.21%	60%	57.45%	給水区域内のほとんどが良質で豊富な地下水があり、自家用井戸の利用者が多いため	水道局
		【水道】 有収率（有収水量/給水水量）×100	89.5%	87.56%	86.87%	90%	84.12%	本管漏水や、水道利用の少ない地区での管末からの水抜き等による	水道局
		【簡易水道】 給水区域内普及率（給水人口/給水区域内人口）×100	94.8%	94.3%	95.2%	96.0%	96.2%	目標達成	水道局
		【簡易水道】 収納率 ※ 水道使用料の調定額に対する収納額の割合	99.3%	98.6%	97.9%	99.5%	97.0%	雇用情勢の悪化等による低所得世帯の増加	水道局
92	下水道の充実	下水道普及率（人口比）	33.5%	40.40%	42.20%	40%	43.4%	目標達成	下水道総務課
		下水道水洗化率（人口比）	69.4%	73.90%	76.90%	75%	76.3%	目標達成	下水道総務課
95	魅力ある都市（市街地）形成	八千把地区土地区画整理事業進捗率	21.4%	54.70%	63.40%	77%	67.9%	長引く不景気による、国庫補助金の減額内示や、保留地販売が振るわず、財源の一つである保留地繰入金等の確保が予定通り出来なかった為。	区画整理課
		中心市街地居住促進事業における住宅供給戸数	0戸	79戸	79戸	50戸	79戸	目標達成	建築住宅課
98	防災・消防体制の整備	住民参加型防災訓練 ※市内全域（全小学校区）で実施	7箇所	15箇所	20箇所	21箇所	21箇所	目標達成	防災安全課
		自主防災組織結成率 ※市内全世帯数に対する結成世帯数の割合	57%	72.4%	75.5%	75%	76.9%	目標達成	防災安全課
		防災備蓄倉庫（備蓄品）の配備箇所 ※市内全域（全小学校区）をカバーするための備蓄品を配備す	9箇所	12箇所	25箇所	15箇所	26箇所	目標達成	防災安全課
100	洪水・崖崩れ防止対策の促進	急傾斜地事業整備率 ※熊本県八代地域振興局工務課調べ	23%	24%	25%	25%	25%	目標達成	土木建設課
		地すべり対策事業整備率 ※熊本県八代地域振興局工務課調べ	69%	70%	71%	71%	71%	目標達成	土木建設課
102	防犯の推進と安全な消費生活の確保	身近な相談員育成セミナー受講者数	ー　人	47人	56人	50人	115人	目標達成	市民活動支援課
107	便利で快適な交通基盤整備	都市計画道路（南部幹線、西片西宮線、八の字線）進捗率 ※計画決定路線の供用開始率（59,686m/76,660m）	71.0%	77.9%	78.7%	72.5%	79.1%	目標達成	街路公園課
110	港湾の充実	八代港水深14m岸壁の整備 水深14m岸壁の整備目標年度	水深12m岸壁1バース	進捗率約60%（事業費ベース）	60.25%	水深14m岸壁1バース	72.90%	平成23年度に国土交通省による事業再評価が行われ、全体の事業費が94億円から139億円に増加したため、未達成となった。	重点港湾八代港営業隊
		八代港のコンテナの取扱量	12,449 TEU	8,590 TEU	9,463TEU	16,500 TEU	11,367 TEU	平成20年に発生したリーマンショックの影響で、極端にコンテナ取扱本数が減少したことによる。	重点港湾八代港営業隊
		日奈久港・鏡港船舶係船の指導・改善	63%	77%	77%	85%	78%	各漁業協同組合の協力の下、係留船舶の把握を進めたが、所有者の特定が困難な船舶があったため。	土木管理課
111	情報基盤の整備	ブロードバンド世帯カバー率	96%	100%	100%	100% ※H22に100%	100%	目標達成	情報政策課

総合計画に係る前期基本計画施策成果指標管理表

目標値記載頁	表　題	施策成果の主な指標	現況（H18）	H21年度末実績	H23年度末実績	目標値（H24）	H24年度末実績	目標値と実績の差の理由（未達成の理由）	担当課
117	経営安定を目指した農業の振興	担い手（認定農業者）数	1,013人	1,113人	1,081人	1,182人	1,067人	未更新者や基本構想到達者の掘り起こしが浸透しなかったため。	農業政策課
		農家所得（1戸当たり）	2,620千円	―	―	3,000千円	―	熊本農林水産統計年報による市町村別の統計データが非公表になったため、把握不可。 後期基本計画では削除。	農業政策課
119	林業経営基盤の強化	林道密度（林道延長/民有林面積）	6.56m/ha	6.8m/ha	6.66m/ha	7.07m/ha	6.66m/ha	市道昇格に伴う林道延長減	水産林務課
121	豊かで安定した水産業の振興	海面漁獲量	650トン	2,548トン（H20年末）	1,664トン（H21年末）	655トン	（H22）1,253t （H23）605t	（H23）集中豪雨に伴い海が淡水化したことによりアサリ貝が大量へい死したため。	水産林務課
123	商業の活性化	中心市街地の歩行者・自転車通行量	15,053人	14,025人	14,787人	16,600人	9,458人	商店街内の大型遊戯店が撤退したため	商工振興課
		中心商店街の年間売上額	6,234百万円（H17）	5,884百万円	5,807百万円（H22）	6,800百万円	5,827百万円	通行量減少の影響を受け、売上額が減少しているが、通行量程大きな影響は出ていない。	商工振興課
125	工業の活性化	従業者数4人以上の事業所数	217所（H17）	207所（H20）	192所（H22）	240所	192所（H22）	デフレに起因した需給ギャップに伴う日本経済の停滞	商工振興課
		製造品出荷額	2,103億円（H17）	2,544億円（H20）	2,164億円（H22）	2,300億円	2,164億円（H22）	デフレに起因した需給ギャップに伴う日本経済の停滞	商工振興課
127	雇用機会の創出と企業誘致	有効求人倍率	0.59倍	0.34倍	0.64倍	0.70倍	0.64倍	日本の経済低迷による、需要の減少と、それに伴う求人数の減少	商工振興課
		企業立地件数	10年間で8件（H9～17）	2件（H18～H21）	4件（H18～23）	5年間で8件	6件（H18～24）	デフレに起因した需給ギャップに伴う日本経済の停滞	商工振興課
131	観光の振興	観光入込み客数（市全域）	1,430,235人	2,206,341人	1,959,246人	1,580,000人	2,153,549人	目標達成	観光振興課
		日奈久地区の入込み客数	113,351人	87,225人	115,791人	125,000人	132,238人	目標達成	観光振興課
		五家荘地区の入込み客数	104,013人 ~~162,543人~~	104,725人	52,003人	178,000人	56,171人	五家荘地区の観光客は、秋季の紅葉祭が大半を占めている。平成21年度は、2年間の道路拡張工事明けで、また紅葉もとても恵まれたため、今までに無い程の盛況ぶりであった。 しかし、近年は道路工事による交通規制箇所が多く点在し、道路事情の悪いイメージが定着したこと、天候不良により紅葉に恵まれなかったこと等の理由から、目標に達成しなかったと考えられる。	観光振興課
		全国花火競技大会来場者数	200,000人	280,000人	300,000人	250,000人	300,000人	目標達成	観光振興課
137	環境保全行動の推進	こどもエコクラブ参加団体数	16グループ	17グループ	11グループ	25グループ	8グループ	周知不足のため	環境課
		環境ゼミナールの開催回数	30回	40回	34回	50回	31回	周知不足のため	環境課
140	生活環境の保全	環境保全協定の締結数（事業所）	23社	19社	18社	30社	19社	不況による締結事業所の撤退等	環境課
		地下水調査井戸本数	3,000本	3,260本	4,353本	3,500本	4，711本	目標達成	環境課
		きれいなまちづくり協定の締結数（各校区）	25団体	26団体	28団体	48団体	29団体	周知不足のため	環境課

総合計画に係る前期基本計画施策成果指標管理表

目標値記載頁	表　題	施策成果の主な指標	現況（H18）	H21年度末実績	H23年度末実績	目標値（H24）	H24年度末実績	目標値と実績の差の理由（未達成の理由）	担当課
145	循環型社会の推進	ごみの総排出量 ※八代市一般廃棄物処理基本計画における目標値である平成22年度44,963トン、平成27年度42,714トンより算出（5%削減目標）	47,568トン（H17）	42,841トン	41,737トン	44,064トン	41,145トン	目標達成	ごみ対策課
		樹木剪定くず処理量	388トン（H17）	626トン	556トン	600トン	356トン	民間業者〔㈱南栄〕による剪定くずの処理受入が可能となったため。	ごみ対策課
158	行政の効率化の推進	情報活用能力研修の実施	180人	486人	1,495人	800人	1,533人	目標達成	情報政策課
		職員数	1,306人	1,153人	1,123人	1,080人 ※H27目標値	1,107人	段階的に削減を行っており、H27年までに達成の見込み。	人財育成課
161	財政の健全性の確保	市税収納率（現年度）	97.49%	97.47%	97.90%	97.66%	98.35%	目標達成	納税課
163	情報の共有化	市ホームページアクセス件数	560,822件	676,301件	468,218件	600,000件	491,201件	インターネットの利用環境が、PC主体からモバイル主体に変化しているためと思われる。モバイルでも、今後の主流となっているスマートフォン対応に最適化されていないことが、理由として大きいのではないかと考えられる。	広報広聴課
165	市民参画の推進	まちづくり出前講座の開催回数	54件	79件	133件	65件	203件	目標達成	広報広聴課
		語学・国際理解講座参加者のべ人数 （H18～）	15人	150人	297人	265人	1,137人	目標達成	秘書課